

しらびそ50周年記念山行

利尻山

2024年7月26日(金)～29日(月) メンバー：L岩田 SL福田 森田 小嶋
辻 有賀 伊藤 濱



しらびそ山の会50周年記念山として利尻山遠征を実施

しました。メンバーは総勢8名。三泊四日の長期遠征で、最北の日本百名山、利尻山に7月27日8人全員登頂し、会の設立50周年を祝うことができた。

「茅野勤労者山岳会しらびそ山の会」は設立から50年、常に少数精鋭で積極的な山行を行ってきた。特に驚くのは、上の写真に初代会長（左から二人目）が写っているということ。50年間会員を続けられる山岳会、素晴らしいと思います。

地元の里山から遠方の百名山。一般登山道、バリエーションルート。夏山、冬山。クライミングに沢登り。海外遠征も・・・ 様々な登山様式を受け入れてメンバーそれぞれが自分のスタイルで山に入り、ある時は声を掛けあって皆で集まって登る。

次の50年も安全に登山ができますように。

会のみなの願いです。

スケジュール

- 7月26日 茅野 ⇒ 鴛泊
- 7月27日 利尻山登山
 - 4:20 利尻山北麓野営場
 - 5:25 6合目
 - 8:27 長官山
 - 11:00-11:30 北峰山頂
 - 13:20 長官山
 - 14:30 6合目
 - 16:00 利尻山北麓野営場
- 7月28日 礼文島ハイキング
- 7月29日 鴛泊 ⇒ 茅野



稚内ノシャップ寒流水族館の
アザラシちゃん

羽田⇒稚内（飛行機）稚内⇒利尻（フェリー）

で移動しました。稚内フェリー乗り場では、

（利尻礼文サロベツ国立公園の設立）50周年記念を祝うポスターがあったのでその前で記念撮影。

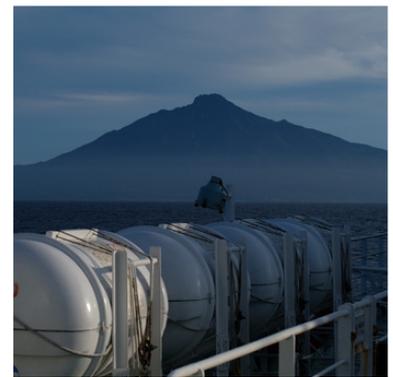


稚内から利尻鴛泊はフェリーで1時間40分。特に荒れることなく船は順調に利尻島に向かう。船に乗っていると、意外と時間があるが、多くの時間をデッキに出て過ごしました。（船の中ではすやすや寝ることもできて居心地良かったですねえ）



デッキから見える利尻島（利尻山）が徐々に大きくなってきて、天候も安定していて、明日の登山への期待が膨らむ。

（利尻山は白い恋人のパッケージになってるようです！これから白い恋人を見かける度に、ここに行ってきたんだぞと思うことが出来るのでなんだかお得です）



利尻島の鴛泊に着き、宿（お宿マルゼン）に入ると、そこは、海辺の崖の上。目の前に北の日本海が広がる。夕日が落ちて標高約90mのペシ岬がシルエットに。この小高い岬は、明るいときに見ると、リアルなゴリラの顔に見えました。



飛行機で羽田⇒稚内



バスで稚内駅へ



フェリーで利尻島鴛泊着



利尻島へ到着



7月27日（土）利尻登山

3時起きで朝食を作り、10人乗りハイエースのレンタカーで宿から利尻山北麓野営場まで移動して、4:20登山開始。野営場の建物の向こうに目指す利尻山山頂が見える。とても遠い。今日は長い登山になりそうだ。



気温はそんなに高くなく、気持ちよく登れる。少し登ると鴛泊港が見えてきた。行程が長いので、あせらずゆっくりと一歩ずつ歩く。



さすがは花の山と言われるだけあって、林の中でもいろんな花がたくさん咲いている。（花の写真は別のページをご覧ください）

長官山まで登ると、周りの木々も低くなり、高山の様子。1200mくらいなんだけどなあ。



ここで利尻山山頂がバーンと見える。思わず飛び上がるひより隊員。みんなで記念撮影を行いました。（トップの写真）

ガレ場ではリシリヒナゲシの花が見られた。

それにしても花が多い。数も多いが、種類もたくさん。ひと目で10種類以上の花が見える見えるお花畑が次々と現れる。こんなに花の種類が多い登山はきっと初めてだ。そのたび写真を撮るとなかなか進まない。でもそのおかげでゆっくりペースを守ることができた。



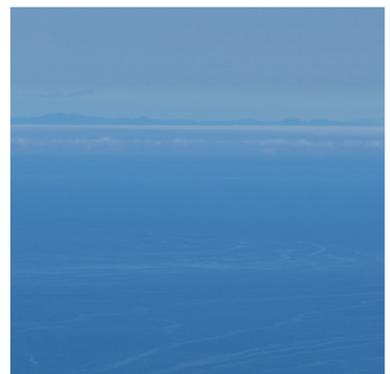
ついに利尻山山頂に到着。稚内方面は少し雲が
上がってきたが、ほぼ360度の大パノラマ。今年の
夏、こんなにいい天気なのはこれが始めてだと聞
いた。ラッキーにもほどがある。参加者全員が晴
れ男、晴れ女ってことか。写真はローソク岩とイ
ブキトラノオ。どこを向いても美しい！



山頂で記念撮影。
本当に北端の百名山に全員登った証拠。
全員満足、いい顔してる。



山頂から、約100km離れたサハリンが見えた。
(右写真)



下り、始め急斜面で慎重に、途中からは気温が
上がり暑い中、みんな頑張って最後まで怪我なく
登山口まで到着することができた。

最後に、お宿マルゼンの女将さん
(左から4人目)と記念撮影。82歳だ
というパワフル女将。とても楽しい
人で50周年記念山行に花を添えてく
れました。ありがとう！



3泊4日の利尻山登山

3月に計画、航空券手配を行って日付を決めてしまった利尻山。どうなることかと思ったけれど、終わってみれば最高の天候で全員無事登頂することができた。

花もたくさん見れたし、みんな楽しそうで本当に良かった～